

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調査

様式1

No. 03030010

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	5 観光の振興	事業優先度	B	
単位施策	1 雄武観光の売り込み	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	見直し年度	平成28年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	施設の適切な維持管理	関係課	#N/A	
事業目標	維持等工事、指定管理料の支出、業務委託、用地取得、温泉成分分析	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	○ホテル施設整備工事	送風機整備工事(7台)	計装設備(シーケンサ機器)取替工事	和室用敷布団・掛け布団・枕・マット更新	冷暖房設備(ピーマックユニット)整備工事	外調機用熱交換器等取替
	送風機整備工事(7台)	浴室棟内改修工事(浴室、脱衣室等)	渦巻きポンプ整備工事(9台)	大型送迎バス更新	温泉ポンプ整備工事(1台)	ロビー床暖昇温ポンプ等取替
	渦巻きポンプ整備工事(9台)	計装設備(シーケンサ機器)取替工事	空調機整備工事(5基)	浴槽ろ過循環用熱交換機取替工事	1階ラウンジ・EVホールカーペット張替工事	2階宴会会場畳張替
	空調機整備工事(5基)	熱源水用熱交換機取替(1台)	冷却塔整備工事	温泉ポンプ整備工事(1台)	2階廊下・宴会場カーペット張替工事	ろ過設備更新工事
	冷却塔整備工事	浄化槽機器改修工事	熱源水用熱交換機取替(1台)	客室カーペット張替工事(17室)	バス旋回場用地調査測量業務委託	ホテル日の出岬屋上防水改修工事
	熱源水用熱交換機取替(1台)	トイレウォッシュレット取替工事(31箇所)	浄化槽機器改修工事	3階廊下カーペット張替工事	バス旋回場用地取得費	ホテル日の出岬屋上防水改修工事
	浄化槽機器改修工事	電話交換設備、客室館内インターネット整備工事	トイレウォッシュレット取替工事(31箇所)	3階～5階廊下壁クロス張替工事	和室・宴会室用机・椅子購入	ホテル日の出岬展望コーナー
	トイレウォッシュレット取替工事(31箇所)	高圧開閉器盤取替工事	温泉ポンプ整備工事(2台)	食堂階段・2階廊下手摺り部改修工事	浄化槽改修	サッシ廻り改修工事
	電話交換設備、客室館内インターネット整備工事	車庫シート補強補修工事	客室カーペット張替工事(17室)	量水器更新工事	源泉配管内視カメラ及び高圧洗浄	
	高圧開閉器盤取替工事	男女電気サウナ取替工事	3階廊下カーペット張替工事		給湯予熱系統ポンプ等取替	
車庫シート補強補修工事	外部改修工事(タイル・ステン等)	3階～5階廊下壁クロス張替工事		客室用空気清浄機購入		
男女電気サウナ取替工事	浴室棟内改修工事(浴室、脱衣室等)	客室用敷布団・マット更新				
外部改修工事(タイル・ステン等)	指定管理料の支出	他				
○ホテルの施設及び運営に係る指定管理料の支出						
事業費(千円)	443,248	290,558	23,420	36,913	82,497	9,860
財源内訳						
国庫支出金	0					
道支出金	0					
地方債	125,000	42,800	19,800	2,500	50,100	9,800
その他	251,300	247,700	3,600			
一般財源	66,948	58	20	34,413	32,397	60
実績事業費	471,845	291,181	52,741	36,754	81,335	9,834
財源内訳						
国庫支出金	227,130	227,130				
道支出金	0					
地方債	94,600	17,300	18,900	2,500	46,800	9,100
その他	46,378	26,378	20,000			
一般財源	103,737	20,373	13,841	34,254	34,535	734
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	適疎債(ソフト)	・計画の浴室棟外改修工事外10工事 257,831千円	・計装設備取替他6工事(委託) 25,775千円	バス更新他7業務(委託) 27,908千円	ろ過機更新他4業務(委託) 52,531千円	外調機用熱交換器等取替他3業務(委託) 9,112千円
	財政調整基金積立金	・屋外照明設置工事 3,213千円	・屋上防水改修工事 6,966千円	客室トイレ便座設置工事 1,739千円	屋上防水改修工事 28,674千円	客室用デスクスタンド購入 225千円
	ホテル日の出岬基金積立金	・源泉配管内スケール除去作業 787千円	・運営資金貸付 20,000千円	用地測量・取得 3,172千円	温泉成分分析 130千円	展望コーナーサッシ廻り改修工事 497千円
	宿泊入浴施設使用料	・備品整備(活魚水槽) 2,972千円 ・指定管理料の支出 26,378千円	※事務事業評価結果 Aー継続/現状維持	宴会用机・椅子購入 3,935千円 ※事務事業評価結果 Aー継続/現状維持	※事務事業評価結果 Aー継続/現状維持	※事務事業評価結果 Aー継続/現状維持
【評価・実績】						
前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値	維持等工事13件、指定管理料の支出1件	8件	維持等工事、用地取得	維持等工事、温泉成分分析	維持等工事
第6期計画への継続(継続無し)	年度達成率	100%	225%	100%	99%	100%
	全体達成率	66%	78%	86%	104%	106%
	備考欄					

事業名	ホテル日の出岬施設整備事業	評価者	管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者	作成者 職氏名	管財係	吉田達也

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	ホテル日の出岬利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	塩害及び経年劣化による施設の破損等に対する施設整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	温泉施設としての適正な維持管理	① 設備改修、備品購入件数	目標年度	平成29年度
			目標値	5件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	利用者の充実した利用環境の確保	②	実績値	6件
			達成度	120.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	改修工事	維持管理に必要な施設の改修工事を実施した。		
	備品購入	利用者のニーズに対応するため、必要な備品を購入した。		
			目標年度	平成29年度
			目標値	〇〇
			実績値	〇〇
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	運営・サービスの低下による利用者離れの予防と温泉施設としての適正な維持管理を図るためにも、施設整備・備品更新等は必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	適正な温泉施設として維持するため、計画的に施設整備を進めており、有効である。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	計画的な整備により修繕費及び維持費が抑制されたおり、効率的である。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全ての方が利用対象である施設の整備であり、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に施設整備等を進めることにより、温泉施設としての適正な維持管理がなされた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
多様化するニーズに対応する施設を運営するには、計画的な施設整備による維持管理が必要であり、また、滞在型観光施設としての役割も担うため、今後も効果的かつ効率的に事業を推進する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止